

平成20年10月22日
消 防 庁

「救急業務における ICT の活用に関する検討会」の発足

消防庁では、救急車と医療機関との情報交換の手法として ICT を活用した救急業務の有効性及び救命効果について検証を行うため標記検討会を発足することといたしました。

一般的に救急車と医療機関の情報交換の手段は、携帯電話（音声）が主なものですが、この情報交換の手段として、音声ばかりでなく映像を付加することにより効率的な救急業務が期待できます。

本検討会では、救急車内における傷病者の観察情報（心電図や傷病者の映像等）を携帯電話を利用して医療機関へ送り、医療機関の医師がリアルタイムに送られてきた情報を携帯電話で把握できるようにし、更には医師から救急隊へ迅速・的確な指示、指導及び助言を行うことが可能となる装置を実際の救急車に搭載させ、救急搬送傷病者の救命効果及び救急業務の効率性について検証を行っていきます。

別紙1参照

* ICT (Information and Communication(s) Technology)：情報通信技術

1 第1回検討会の内容

- ・ 救急車から医療機関への傷病者情報及び画像伝送の検証実験について
- ・ その他

2 構成員

別紙2のとおり

3 開催日

第1回検討会を平成20年10月29日（水）に開催し、その後2、3回の検討会を行う予定。



【問い合わせ】

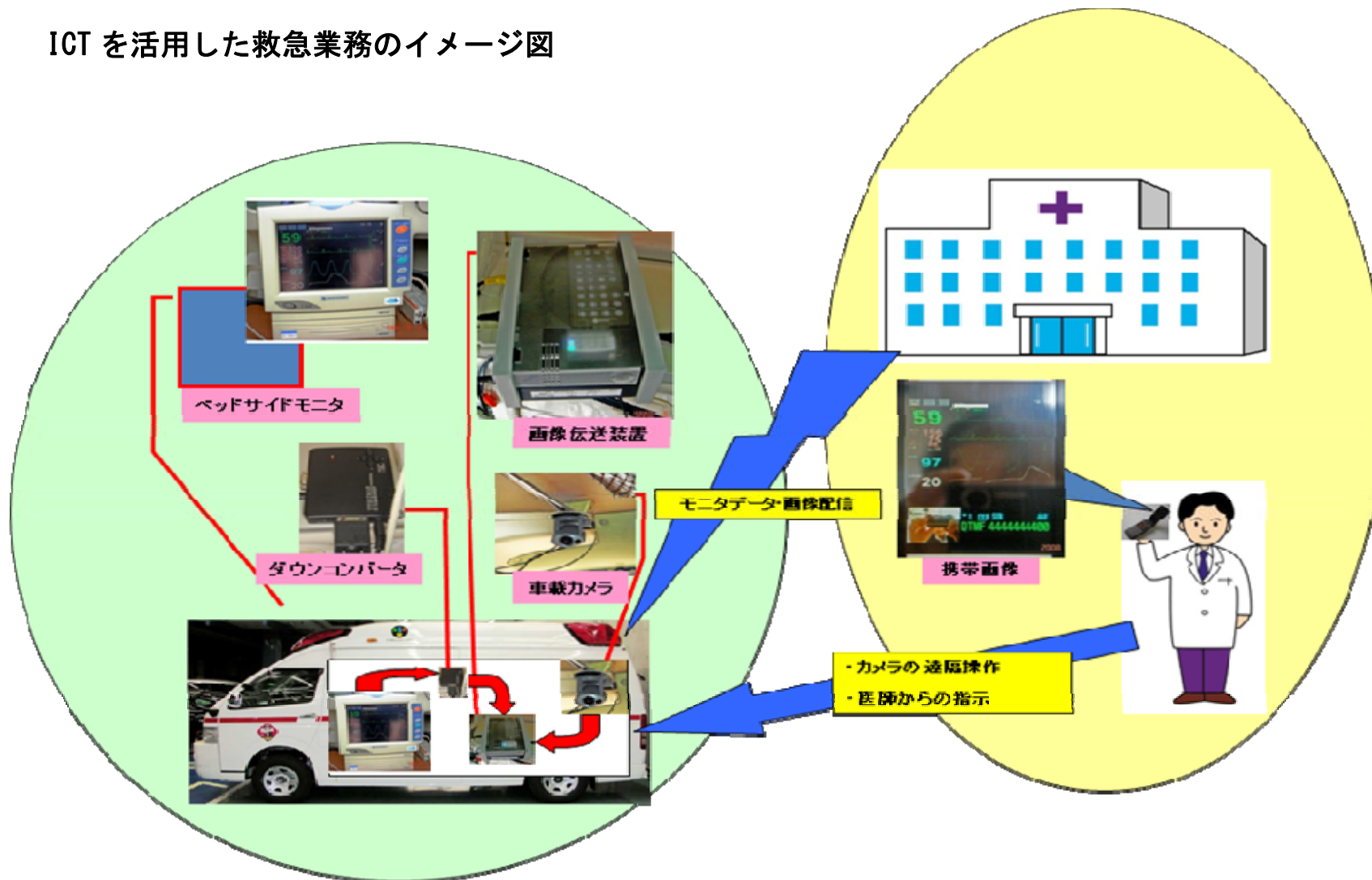
消防庁救急企画室

担当：松野補佐、島田係長、鈴木事務官

電話：03-5253-7529

FAX：03-5253-7539

救急自動車と医療機関との情報交換の手法として
ICT を活用した救急業務のイメージ図



救急業務における ICT の活用に関する検討会 構成員

(五十音順・敬称略)

稲 葉 英 夫 (金沢大学医学部附属病院救急部・集中治療部部長)

影 林 茂 樹 (生駒市消防本部警防課長)

金 岡 利 明 (金沢市消防局警防課担当課長)

松 田 潔 (山梨県立中央病院救命救急センター長)

丸 茂 勝 美 (横須賀市消防局消防・救急課長)

山 尾 泰 (電気通信大学先端ワイヤレスコミュニケーション研究センター教授)

山 本 隆 一 (東京大学大学院情報学環准教授)

和 藤 幸 弘 (金沢医科大学病院救命救急科教授)